

生活



かけがえのない先人の遺産

ふるさとの文化財を守ろう

行者堂と久次良薬師堂の 貴重な仏像ご難

最近貴重な仏像の盗難事件が、市内で二件ありました。二件とも県や市の文化財に指定されているもので、誰が、どうやって盗んだのかわかりませんが、目下のところ発見されず、帰ってくるあてがないことから、非常に残念がら

ています。盗難にあった仏像は、史跡探勝路にある行者堂で、本尊「役小角」像の左右にあった「前鬼と後鬼」の二体。三月二十五日の市民史跡ハイクの行事で見付けました。また久次良薬師堂内の「薬師如来、



行者堂内部、左右の前鬼・後鬼が無くなった



久次良薬師堂の仏像 この写真の仏像が全部無くなってしまった

日光・月光菩薩像、十二神将などが、そっくり盗難に逢い、五月十二日、祭典の前に気付きました。警察では、早速写真手配をとりましたが、いまだに発見されていません。大切な先人の残した遺産は、市民が協力して守って行かなければなりません。保管者のもとより、市民がこぞって文化財の存在には常に注意し、盗難予防に万全の措置を講じて、再発しないよう目を光らせてほしいものです。

家庭用計量器

消費者と
マーク



六月七日は、計量記念日です。日常生活を見ても、いろいろなところが活躍しています。身近なところでは、ヘルスマーターや調理用はかりなどがあります。ところで、これらの計量器が果たして正確かどうか、性能はどうかという判断は、わたしたち消費者にはなかなかできません。そこで、わたしたち消費者に代わって、国が一定の技術上の基準を設けて、その基準に適合したものについてのみ「合格証」を付けさせる制度があります。これは「家庭用計量器制度」と呼ばれ、必要に応じて立ち入り検査や試買検査を行い、国の決めた技術上の基準が守られているかを監視するものです。販売業者は、原則としてこのマークのついていない計量器を扱ってはいけないことになっています。現在、この制度の適用を受ける計量器は、ヘルスマーター、調理用はかり、乳児用はかり、板付きガラス製温度計、バイメタル式温度計、二層以下の繊維製および合成樹脂製の巻き尺の六種類です。